

◇ 親権者変更の調停・審判を申し立てる方へ ◇

- 1 手続きの概要(Q&A) ・ 調停をする場合
 ・ 審判をする場合(親権者が死亡、行方不明等となっている場合)

- 2 申立てできる方
 ・ 子どもの親族(一般的には父又は母)

3 申立先

調停の場合、相手方の住所地(実際に住んでいる住所)の家庭裁判所又は当事者が合意で定める家庭裁判所

審判の場合、子の住所地(実際に住んでいる住所)の家庭裁判所

(複数の子について、審判を申立する場合は、そのうちの一人の子の住所地の裁判所)

- 4 申立てに当たり提出をお願いするものは、次のとおりです。
 手続きのために必要な場合は、書類や郵便切手の追加提出をお願いすることがあります。
 (申立書提出の際、□のチェック欄を利用し、必要なものが揃っているかどうかご確認ください。)

- ☐ 下記の5のに記載の書類
☐ 申立人の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通
☐ 相手方の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通
☐ 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書) 1通
☐ 収入印紙 未成年者1人につき1,200円分
☐ 郵便切手 100円×2枚, 82円×8枚, 20円×2枚, 10円×4枚, 5円×2枚(946円分)
 ※ 審判の場合、さらに、500円×4枚, 82円×2枚を追加
 (親権者が死亡している場合は、500円×2枚, 82円×1枚を追加)

5 申立てする方が、記入して提出する書類

1	申立書 記載例 記載例(親権者死亡の場合)	・ 裁判所から、申立書の写しを相手方に送付します。 ・ 知られたくない住所等は「連絡先等の届出書」に記載し、申立書には記載しないでください。
2	連絡先等の届出書	・ 安全の確保等の必要から申し出があった場合には、原則的に非開示(住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること)とします。
3	事情説明書	・ 申立てに至った事情などを記載してください。 ・ 提出した書面は、相手方が見たり(閲覧)、コピー(謄写)をする可能性があります。
4	進行連絡メモ	・ 調停の進行に関して、参考にするものです。 ・ 特別な事情がない限り非開示とします。

6 申立てする方に読んでおいてほしい書類

1	裁判所に書面を提出される方へ	・ 裁判所に書面を提出する場合の注意書です。
2	情報の非開示を求める場合の取扱いについて	・ 提出する書面に記載されている情報を相手方に対して非開示(見せたり、コピーさせたりしないこと)とすることを求める場合の説明書です。よくお読みください。 ・ 相手方に知られたくない情報が含まれた書面などを裁判所に提出するかどうかは、ご自身で判断してください。
3	家事調停のしおり	・ 調停の進行についての説明書です。

親権者変更（親権者行方不明（死亡）等の場合）

1. 概要

離婚した際に決めた親権者の死亡、行方不明、精神障害などの事由により、親権者を他方の親に変更するためには、家庭裁判所の審判が必要です。家庭裁判所は、申立てにより、未成年者の福祉のために必要があると認めるときに、審判によって、親権者を他方の親に変更することができます。

2. 申立人

未成年者の親族

3. 申立先

未成年者の住所地の家庭裁判所（未成年者が複数いる場合は、そのうちの1人の住所地を管轄する家庭裁判所に申し立てることができます。）

4. 申立てに必要な費用

- ・ 収入印紙 1200 円分（未成年者 1 人につき）
- ・ 連絡用の郵便切手（申立てされる家庭裁判所へ確認してください。）

5. 申立てに必要な書類等

(1) 申立書

(2) 標準的な申立添付書類

- ・ 申立人の戸籍謄本（全部事項証明書）
- ・ 親権者の戸籍謄本（全部事項証明書）（親権者死亡の場合は、死亡の記載のあるもの）
- ・ 未成年者の戸籍謄本（全部事項証明書）

※ 同じ書類は 1 通で足りません。

※ もし、申立前に入手が不可能な戸籍がある場合は、その戸籍は、申立後に追加提出することでも差し支えありません。

※ 審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。

6. 手続の内容に関する説明

Q1. 変更の審判が確定したときは、どのような手続が必要ですか。

A. 親権者になった人には、戸籍法による届出義務がありますので、審判が確定した日から 10 日以内に、市区町村役場に親権者変更の届出をしなければなりません。届出には、審判書謄本及び確定証明書のほか、戸籍謄本などの提出が求められることがありますので、詳しくは届出をする役場にお問い合わせください。

Q2. 確定証明書は、どのように申請するのですか。

A. 家庭裁判所に備え付けの申請用紙がありますので、申請用紙に必要事項を記入し、150 円分の収入印紙、郵送の場合には返信用の切手を添えて、審判をした家庭裁判所に申請してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	家事 ☐ 調停 ☐ 審判 申立書 ☐ 審判 親権者の変更 (この欄に未成年者1人につき収入印紙1,200円分を貼ってください。) (貼った印紙に押印しないでください。)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">収入印紙 円</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">予納郵便切手 円</td> <td></td> </tr> </table>	収入印紙 円		予納郵便切手 円		
収入印紙 円					
予納郵便切手 円					

家庭裁判所 御中 平成 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
-------------------------	-----------------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) ☐ 申立人の戸籍謄本(全部事項証明書) ☐ 相手方の戸籍謄本(全部事項証明書) ☐ 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書) ☐	準口頭
------	--	--

申 立 人	本籍 (国籍)	都 道 府 県				
	住 所	〒 - (方)				
	フリガナ 氏 名			昭和 平成	年 月 日	生 歳
相 手 方	本籍 (国籍)	都 道 府 県				
	住 所	〒 - (方)				
	フリガナ 氏 名			昭和 平成	年 月 日	生 歳
未 成 年 者	未成年者(ら) の本籍(国籍)	☐ 申立人と同じ ☐ 相手方と同じ ☐ その他 ()				
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()		平成	年 月 日	生 歳
	フリガナ 氏 名			(歳)		
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()		平成	年 月 日	生 歳
	フリガナ 氏 名			(歳)		
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()		平成	年 月 日	生 歳
	フリガナ 氏 名			(歳)		
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()		平成	年 月 日	生 歳
フリガナ 氏 名			(歳)			

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □の部分は、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

- ※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号を○で囲んでください。
□の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
※	
1 未成年者の親権者を、(☐ 相手方 / ☐ 申立人) から (☐ 申立人 / ☐ 相手方) に変更するとの (☐ 調停 / ☐ 審判) を求めます。	
(親権者死亡の場合)	
2 未成年者の親権者を、(☐ 亡父 / ☐ 亡母)	
氏名.....	
本籍.....	
から 申立人 に変更するとの 審判 を求めます。	

申 立 て の 理 由	
現 在 の 親 権 者 の 指 定 に つ い て	
☐ 離婚に伴い指定した。	その年月日 平成.....年.....月.....日
☐ 親権者の変更又は指定を行った。	(裁判所での手続の場合)
	家庭裁判所.....(☐ 支部 / ☐ 出張所)
	平成.....年(家.....)第.....号
親権者指定後の未成年者の監護養育状況	
☐ 平成.....年.....月.....日から平成.....年.....月.....日まで	
☐ 申立人 / ☐ 相手方 / ☐ その他(.....)のもとで養育	
☐ 平成.....年.....月.....日から平成.....年.....月.....日まで	
☐ 申立人 / ☐ 相手方 / ☐ その他(.....)のもとで養育	
☐ 平成.....年.....月.....日から現在まで	
☐ 申立人 / ☐ 相手方 / ☐ その他(.....)のもとで養育	
親権者の変更についての協議状況	
☐ 協議ができている。	
☐ 協議を行ったが、まとまらなかった。	
☐ 協議は行っていない。	
親権者の変更を必要とする理由	
☐ 現在、(☐ 申立人 / ☐ 相手方) が同居・養育しており、変更しないと不便である。	
☐ 今後、(☐ 申立人 / ☐ 相手方) が同居・養育する予定である。	
☐ (☐ 相手方 / ☐ 未成年者) が親権者を変更することを望んでいる。	
☐ 親権者である相手方が行方不明である。(平成.....年.....月頃から)	
☐ 親権者が死亡した。(平成.....年.....月.....日死亡)	
☐ 相手方を親権者としておくことが未成年者の福祉上好ましくない。	
☐ その他(.....)	

※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 ー (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 (歳)
※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 ー (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 (歳)
※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 ー (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 (歳)
※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 ー (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、不在者、共同相続人、被相続人等の区別を記入してください

※ 連絡先等について非開示（住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること）を希望するときは、下欄の非開示の希望に関する申出書に必要事項を記入してください。（書類の提出に当たっては、「裁判所に書類を提出される方へ（申立人用）」をご覧ください。）

連絡先等の届出書

（該当するものにチェックをしてください。）

1 書面の送付場所

標記の事件について、書面は次の場所に送付してください。

☐ 申立書記載の住所のとおり

☐ 下記の場所（A）

場所：_____

場所と本人との関係：☐住所 ☐就業場所（勤務先）

☐その他 _____

2 平日昼間の連絡先

携帯電話番号（B）：_____

固定電話番号（☐自宅/☐勤務先）（C）：_____

☐ どちらに連絡があってもよい。

☐ できる限り、☐携帯電話/☐固定電話への連絡を希望する。

平成 年 月 日

☐申立人 氏名：_____ 印

※ 以下の欄は、非開示の希望がない場合は記入不要です。

本書面記載内容うち、下欄により非開示とすることを求めたもの（A、B、C）については、原則として開示しない取扱いとなります。
他の提出書面に非開示の希望を出した住所等を記載しないように注意してください。

非開示の希望に関する申出書

安全確保のため、上記届出の（☐A ☐B ☐C）を、非開示とすることを希望します。

平成 年 月 日

☐申立人 氏名：_____ 印

※ 連絡先等について非開示（住所等の記載された書面を見せたり、コピーさせたりしないようにすること）を希望するときは、下欄の非開示の希望に関する申出書に必要事項を記入してください。（書類の提出に当たっては、「裁判所に書類を提出される方へ（申立人用）」をご覧ください。）

連絡先等の届出書

（該当するものにチェックをしてください。）

1 書面の送付場所

標記の事件について、書面は次の場所に送付してください。

☐ 申立書記載の住所のとおり

☒ 下記の場所（A）

場所：金沢市丸の内▲番▲号

場所と本人との関係：☒住所 ☐就業場所（勤務先）

☐その他

2 平日昼間の連絡先

- 携帯電話番号（B）：090-1234-5678
- 固定電話番号（☒自宅/☐勤務先）（C）：076-987-6543
- ☒ どちらに連絡があってもよい。
- ☐ できる限り、☐携帯電話/☐固定電話への連絡を希望する。

平成24年 9月1日

☒申立人／ 氏名：兼 六 花 子 印

※ 以下の欄は、非開示の希望がない場合は記入不要です。

本書面記載内容うち、下欄により非開示とすることを求めたもの（A、B、C）については、原則として開示しない取扱いとなります。
他の提出書面に非開示の希望を出した住所等を記載しないように注意してください。

非開示の希望に関する申出書

安全確保のため、上記届出の（☒A ☐B ☒C）を、非開示とすることを希望します。

平成24年 9月1日

☒申立人/☐相手方 氏名：兼 六 花 子 印

この書面は、相手方から申請があれば閲覧謄写(見せたり、コピーさせたりすること)される可能性があります。

平成 年 月 日

事 情 説 明 書

申 立 人 _____ 印

1 本件申立てに至った事情やいきさつなどを記入してください。

2 これまでのいきさつを考えると、調停で対立すると思われることは、どのようなことですか。

3 これまでのいきさつを踏まえ、本件について、現在、あなたが考えていることを簡単にお書きください。

この書面は、相手方から申請があれば閲覧謄写(見せたり、コピーさせたりすること)される可能性があります。

4 次の事項についてお書きください。

	申 立 人				相 手 方			
職 業 等	職業 _____ 最終学歴 _____ [_____] ☐ 卒業 ☐ 中退				職業 _____ 最終学歴 _____ [_____] ☐ 卒業 ☐ 中退			
月収や賞与 (ボーナス)など ※税込で記入	年収 約 _____ 万円 内訳 月収 約 _____ 万円 賞与 年 _____ 回・計 _____ 万 [月 _____ 万円, 月 _____ 万円, その他 _____ 万円]				年収 約 _____ 万円 内訳 月収 約 _____ 万円 賞与 年 _____ 回・計 _____ 万 [月 _____ 万円, 月 _____ 万円, その他 _____ 万円]			
その他の 財 産	☐ 土地 ☐ 建物 ☐ 預貯金 約 _____ 万円 ☐ 負債 ☐ 住宅ローン 約 _____ 万円 ☐ その他 約 _____ 万円 ☐ その他 [_____]				☐ 土地 ☐ 建物 ☐ 預貯金 約 _____ 万円 ☐ 負債 ☐ 住宅ローン 約 _____ 万円 ☐ その他 約 _____ 万円 ☐ その他 [_____]			
親族や公的 機関からの 援助の有無	(具体的に)				(具体的に)			
住居の状況	☐ 自宅 ☐ 実家 ☐ 賃借 [家賃 月額 _____ 円] ☐ その他 [_____]				☐ 自宅 ☐ 実家 ☐ 賃借 [家賃 月額 _____ 円] ☐ その他 [_____]			
現在同居 している 家族	氏 名	歳	続柄	職業・学年	氏 名	歳	続柄	職業・学年

進行連絡メモ（申立人）

この書面は、調停を進めるための参考として、裁判所のみが使用します。
 当てはまる事項にチェックまたは○印をし(複数回答可)、空欄には自由に記載して、申立ての際に提出してください。

あなた(申立人)についておきます。	☐ あなたの職業(勤務先)を教えてください。									
	職業		勤務先				電話番号 ()			
	☐ どうしても調停期日を避けてほしい日などがありましたらお書きください。 ※ 調停期日は平日のみです。									
	日にち () (理由:)									
	曜日・時間帯 ※ あなたが避けてほしい曜日・時間帯を○で囲んでください。									
	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	(理由:)									

相手方についておきます。	☐ 相手方の職業(勤務先)が分かりましたらお書きください。									
	職業		勤務先				電話番号 ()			
	☐ 相手方が調停期日に差し支えのある日などがありましたらお書きください。 ※ 調停期日は平日のみです。									
	日にち () (理由:)									
	曜日・時間帯 ※ 相手方が差し支えのある曜日・時間帯を○で囲んでください。									
	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	(理由:)									

調停を進める上で、裁判所への要望があれば書いてください。	
------------------------------	--

この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	☐ ある。(そのときの相手方の態度について、チェックをしてください。)	
	☐ 感情的で話し合えなかった。	☐ 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。
	☐ 態度がはっきりしなかった。	☐ その他()
	☐ ない。(その理由について、チェックをしてください。)	
	☐ 話し合いに全く応じないから。	☐ 話し合っても無駄だと思ったから。
	☐ その他()	

この申立てをするのを相手方に伝えましたか。	☐ 伝えた。(相手方の反応:)	
	☐ まだ伝えていないが、伝えるつもりである。	
	☐ 伝えるつもりはない。(理由:)	

相手方に暴力の心配がありますか。	☐ 暴力の心配はない。	
	☐ 暴力の心配がある。	
	以下は、暴力の心配がある方のみ記入してください。	
	1 これまでに、相手方の暴力で治療を受けたことがありますか。	
	☐ ある。(平成 年 月 ころ)	☐ ない。
	(けがの種類 ☐ 骨折 ☐ 打撲 ☐ あざができた ☐ その他 ())	
	(けがの程度 ☐ 入院 ☐ 通院 ☐ その他 ())	
	2 配偶者暴力に関する保護命令の申立てをしましたか。	
	☐ はい → 保護命令は出ましたか。	☐ はい (保護命令決定書の謄本のコピーを提出してください)
	☐ いいえ	☐ いいえ
3 相手方が刑事事件を起こしたことがありますか。		
☐ ある。	☐ ない。	
(事件の内容 ☐ 傷害 ☐ その他 ())		
4 調停時の相手方について		
☐ 申立人と顔を合わせなければ暴力を振るうおそれはない。		
☐ 裁判所職員や第三者がいる場所でも暴力を振るうおそれがある。		
☐ 裁判所への行き帰りに待ち伏せされるおそれがある。		
☐ 裁判所に刃物等の凶器を持ってくるおそれがある。		
☐ 次のものを摂取してくるおそれがある。		
(☐ 薬物 ☐ アルコール ☐ その他 ())		

現在治療中の病気があれば、書いてください。	☐ 申立人 (病名:)	
	☐ 相手方 (病名:)	
	☐ 子ども (名前: 病名:)	

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		☐ 調停	
		☒ 審判	
家事 申立書		〔 親権者の変更 〕	
(この欄に未成年者1人につき収入印紙1,200円分を貼ってください。)			
収入印紙 円		印紙	
予納郵便切手 円			
(貼った印紙に押印しないでください。)			

〇〇 家庭裁判所	申立人	乙 野 花 子	印
御 中	(又は法定代理人など)		
平成 〇 年 〇 月 〇 日	の 記 名 押 印		

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)		準 口 頭
	☒ 申立人の戸籍謄本(全部事項証明書)	☐ 相手方の戸籍謄本(全部事項証明書)	
	☒ 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書)		

申立人	本 籍 (国 籍)	〇〇 都 道 〇〇市 〇〇町 〇番地 府 県 □	
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇号 〇〇アパート〇号 方	
	フリガナ氏 名	オツ ノ ハナ コ 乙 野 花 子 昭和 〇年 〇月 〇日生 平成 (〇 〇 歳)	
	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県	
	住 所	〒 - (方)	
	フリガナ氏 名	昭和 年 月 日生 平成 (歳)	
未 成 年 者	未成年者(ら)の本籍(国籍)	☐ 申立人と同じ ☐ 相手方と同じ ☒ その他 (〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番)	
	住 所	☒ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成 〇年 〇月 〇日生 (〇 歳)
	フリガナ氏 名	コウ ノ イチ ロウ 甲 野 一 郎	
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏 名		
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏 名		
	住 所	☐ 申立人と同居 / ☐ 相手方と同居 ☐ その他 ()	平成 年 月 日生 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

裁判所に書面を提出される方へ（申立人用）

金沢家庭裁判所調停係

裁判所に書面を提出される場合には、以下の点にご留意願います。

1 申立書の写しの送付・提出書面の開示について

- (1) 法律の定めにより、あなたが提出された申立書の写しを相手方に送付します。
そのため、申立書は、相手方に読まれることを前提としてお書きください。

※「申立書の写し」は、相手方の人数分提出することとなっています。

- (2) 裁判所に提出する書面には、あなたの主張、言い分、意見や希望などをまとめた「主張書面」やあなたの主張や言い分を裏付ける「資料」があります。あなたから提出される「主張書面」や「資料」については、**相手方からの希望があると、相手方にお見せしたり（「閲覧」と言います。）、コピーを認める（「謄写」と言います。）**こともありますので、ご注意ください。

※ もし主張書面に、相手方の人格を非難したり、感情的に相手方を攻撃したりするような内容などを書かれると、かえって調停が円滑に進まなくなる可能性があります。

2 提出書面の作成方法について

<主張書面>

- (1) A4サイズ（この書面のサイズです。）の用紙を縦に使用してください。
(2) 綴じしろとして左端より3センチメートル以上あけ、横書きに書いてください。
(3) 必ず①裁判所名、②事件番号（平成〇〇年（家イ）第〇〇〇号）又は（平成〇〇年（家）第〇〇〇号）、③作成年月日を記載の上、署名押印をしてください。

<資 料>

資料の現物は、お手元で保管して、それをコピーしたものを提出してください。

相手方に見られたくない部分がある場合

↓ ↓
「情報の非開示を求める場合の取扱いについて」をご覧ください。

情報の非開示を求める場合の取扱いについて

あなたが、家庭裁判所に提出する書面に記載されている情報を、反対当事者に対して非開示（見せたり、コピーしたりさせないこと）とするよう求める場合は、以下の取扱いによってください。

A

反対当事者からの暴力等があり、住所及び住所に関連する情報（職業、職場、学校名等）を反対当事者に知らせたくないときはどうすればいいですか。

安全の確保等の必要から申し出があった場合には、住所等を原則的に非開示とします。
次の方法によって住居等が相手に知られないようにしてください。

連絡先等の届出書の提出

→ 「連絡先等の届出書」（記載例参照）を用いて住居等を届け出た上、非開示の希望がある場合には、この届出書下欄の非開示の希望に関する申出書に必要事項を記入して提出してください。申立書には秘匿希望の住所等は書かないでください。

書面の提出

→ 主張書面や資料（源泉徴収票、診断書、陳述書等）を提出するときは、住所等の部分をマスキング（紙で隠してコピーする）して消した状態で提出してください。

B

裁判所に提出する書面（主張書面及び資料）に、上記A以外にも相手には知らせたくない情報が含まれているときはどうすればいいですか。

該当部分が見えないようにマスキング（紙で隠してコピーする）して消した状態で書面を提出してください。

※ この場合、マスキングされた部分は、家庭裁判所にも知らされない（提出されない）ので、家庭裁判所の判断の基礎とはなりません。

C

反対当事者には見せたくないけれども、家庭裁判所には提出して判断の基礎としてほしい書面があるときはどうすればいいですか。

「非開示の希望に関する申出書」（記載例参照）に、非開示を求める部分と理由を明記し、提出資料をステープラ（ホチキス）で留めて一体化した上で提出してください。また、蛍光ペンでマークしたり、ラインを引いたりして非開示を求める部分を特定してください。

注意！ あなたが、「非開示の希望に関する申出書」を提出した場合も、反対当事者等から閲覧謄写の請求があったときには、裁判官が認めるべきか否かを判断しますので、請求が認められたときは、非開示を求めた部分についても閲覧謄写されることになります。

平成24年（家イ）第000号

非開示の希望に関する申出書

別添書面（陳述書）について、下記のとおり非開示とすることを希望します。

平成24年 9月1日

☒申立人 ☐相手方

氏名 兼 六 花 子 (印)

記

非開示を希望する部分及び非開示を希望する理由 ※ 理由は、下のア～オのどれに当たるかと具体的事情を記してください。	
☐ 書面の全部	理由（ア、イ、ウ、エ、オ） 事情
☒ 書面の一部（以下の部分）	
1 2ページの1の(2)	
理由（ア、イ、ウ、エ、オ）	
事情	子らが相手方のことを怖れているため、子らの気持ちが相手方に伝わることは避ける必要がある。
2 5ページ10行目（申立人の知人の名前）	
理由（ア、イ、ウ、エ、オ）	
事情	相手方は、申立人が当該知人と異性関係があったと思い込んでおり、同人の名前が伝わると迷惑が掛かるおそれがある。
3	
理由（ア、イ、ウ、エ、オ）	
事情	

非開示を希望する理由

- ア 未成年者の利益を害するおそれがある。
- イ 当事者又は第三者の私生活や業務の平穩を害するおそれがある。
- ウ 当事者又は第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、社会生活を営むのに著しい支障を生じ、若しくは名誉を著しく害するおそれがある。
- エ 事件の性質、審理の状況、記録の内容等に照らして、閲覧、謄写等を許可することとを不適当とする特別の事情がある。
- オ その他